

リハビリテーション科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	末梢性顔面神経麻痺患者の Quality of Life と精神状態に関する実態調査
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)リハビリテーション部 (職名)副技師長 (氏名)河尻 博幸
試料・情報の利用目的 及び利用方法	〔利用目的〕 末梢性顔面神経麻痺を患った患者さんの生活の質や精神状態の実態を把握し、影響を与える要因を探索することで、リハビリテーションプログラムの改善に役立てることを目的としています。 〔対象となる患者さん〕 2015年10月から2025年10月までに末梢性顔面神経麻痺と診断された患者さん 〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2027年3月31日 〔利用方法〕 入院中や外来通院時に診療のために検査をさせていただいた自覚症状や麻痺の程度、アンケートの結果などを利用して調査をさせていただきます。尚、利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。研究計画書及び研究の方法に関する資料は閲覧できます。閲覧を希望する場合は下記問い合わせ先まで申し出てください。 〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 なし
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：【顔の動きの検査，神経障害の重症度の検査，生活の質や精神状態に関するアンケート 等】
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	【非該当】
提供する試料・情報の取得の方法	【非該当】

提供する試料・情報 を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	【非該当】
利用する者の範囲	【非該当】
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年1月31日までにお電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 リハビリテーション部 担当者:(職名)理学療法士 (氏名)浅野 翔 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 36900)